

鹿児島県柔道会だより

■発行人/北 哲郎 ■編集/総務部編集委員会 ■発行/財団法人鹿児島県柔道会(電話 099-222-7770)

熊毛地区が優勝

きらめき県体柔道競技

日時 平成19年9月16日(日)

会場 志布志市志布志運動公園武道館

▽予選リンク 熊毛2-0日置, 日置4-1出水, 川薩5-0出水, 大島4-1伊佐, 曾於3-1伊佐, 曾於3-1揖宿, 川辺3-1揖宿, 始良3-1川辺, 始良4-0肝属, 鹿児島3-1肝属, 熊毛2-1鹿児島

▽決勝トーナメント準決勝

熊毛2-0川薩 始良2-0曾於

▽決勝 熊毛4-0始良

鹿児島県体育協会表彰者と

受賞者喜びの声

【体育功労者】

1 濱田征夫

人物良好・温和で、柔道の指導力に富み造士館の指導者として、青少年の健全育成に貢献している。

2 野沢好則

枕崎市柔道会副会長として、柔道の普及発展に多大の貢献をした。

【社会体育優良団体】

1 中種子町柔道会

柔道スポーツ少年団の育成を通して、少年団チームの上位入賞、中学生は、平成15年度に中種子中学校が団体で、全国大会出場。高校生は、平成19年度に中種子高校が団体で、九州大会に出場した。個人戦においても、常時上位入賞をしている。県民体育大会でも、優勝3回の実績を持つ。

【受賞者喜びの声】

○ 濱田 征夫氏 「より一層の精進を」

この度は、鹿児島県体育協会の「体育功

労者」としての私にとって身に余る大賞を戴きましたことを、驚きに感じています。

これもひとえにこれまで御指導戴いた北哲郎会長をはじめ県柔道会の諸先生方の御指導と御援助の賜と深く感謝しています。

この賞は、私個人への賞ではなく、これまで造士館と一緒に汗を流してきた会員一同に対して戴いた賞であると思っ大切になりたいと思います。

私が、県柔道会館に入館したのは、昭和41年で、館長は、故法充保晴先生でした。その頃の練習日は、週6日(月~土)で、故吉松義彦先生が、全日本柔道選手権大会で優勝するために城山の階段上りをして優勝されたと言う事を伝え聞いて、皆乱取りの前に城山の階段上りをしていました。

入門から41年が経ちました。御指導戴いた歴代の館長は、2代目故法充保晴先生3代目故島中稔先生、4代目豊永強先生、5代目故岡山正俊先生、6代目堀之内俊隆先生、7代目宇都克洋先生、8代目畑添勉先生です。

私は、歴代の館長から、「柔道修行の目的」、「柔の理」、「精力善用・自他共栄」等についての御講話を戴き、一般社会では学ぶことのできない貴重な体験と知識を得ることができました。

私は、このことを造士館の門を叩いて入門してくる館員にも伝授できればと思っ頑張っていますが、なにせ奥の深い柔の道。思うようにいかぬことばかりです。

でも、一緒に汗を流し、指導してきた館員が、各界で活躍されているのを見ますと大変嬉しくなります。

現在、造士館には、中学生・高校生・大学生・一般の館員が、20数人います。週3日(月・水・金)の練習は、活気に満

ちています。これからもこのような良い雰囲気作りに努めてまいります。

最後に。私もまだ柔道修行の途中です。この賞を戴いたのを契機に、より一層の精進を重ねて、鹿児島県柔道会の発展に微力ながら寄与できればと考えております。北哲郎会長さんをはじめ諸先生方のより一層の御指導を賜りますようお願いいたします。

「少年部指導者研修会及び強化練習会」報告

減少傾向にある少年柔道マンの人口を増やそうと、7月22日(日)、第1回少年部指導者研修会及び強化練習会を県武道館で開催した。

県内の各支部から約70人の指導者、保護者が集まり、活性化させるためのアイデアを出し合った。

指導者研修会では、

- (1) 本県少年柔道の現状と課題
- (2) 少年部の普及・競技力向上
- (3) 大会要項等の検討
- (4) 指導者研修会及び強化練習会等について話し合った。

強化練習会では、

- (1) 柔道の技の研究
- (2) 自由練習
- (3) 全国大会出場監督・選手の激励等があった。

夜は、懇親会で盛り上がり終了した。

【県柔道会の見解と今後の方針・見通し】

県柔道会では、第1回少年部指導者研修会での検討すべき内容について、臨時常務理事会を開催し、議題に取り上げて協議した。

結論を次のとおり、【県柔道会の見解と今後の方針・見通し】としてまとめた。

1 大会要項等に関する件

- (1) 低学年(3年生以下)については、教育的配慮、安全面・体力体格面を考慮し、全柔連、講道館、県教委等の意

見を聞いて判断する。現在、検討中。
形コンテストについては、会場の確保・運営上困難がある。

(2) 個人戦の人数制限なし。

会場の確保、運営時間等が確保できる時は、実施可能。

(3) 上位Aグループ、下位Bグループの分け方は、不採用。

予選リンクの採用は、時間がかかるので、不採用。

抽選は、シードを設けず、緒戦のみ同一地区を避け、フリー抽選とする。

2 その他、今後検討を要する事項

(1) 中学校に柔道部がない。部顧問がない。

各支部又は少年指導者は、地教委に柔道指導者の配置の要望、関係学校長に顧問教師を要請する。更に、地域指導者や警察指導者の協力を依頼する。

(2) Cライセンス修得の審判講習会は?

今後、隔年毎にその他の指導者も含むCライセンス修得の指導者研修会を開催の方向で実施計画案作成中。

(3) 「級」の昇級認定については、各支部で実施する。

帯は、各自、各団で準備する。

級証書は、本部で作成し、要請があれば発行する。

(支部だより 2)

「少子化による柔道人口の低迷を挽回し、青少年の健全育成に努力しよう」

日置支部長 畦元 徹郎

日置支部では、県下三大行事の一つとして伝統のある伊集院町の妙円寺詣り柔道大会をはじめとして、日置支部・伊集院町体育協会の共催による少年柔道大会、串木野柔道大会、B&G少年柔道大会、吹上町主催やぶさめ行事柔道大会等数々の大会を開催していますが、支部としてはなにぶん財政

困窮のため年間計画の大会の全部には助成金を出すことはできませんが、主な大会には、少々の助成金を出しております。このような状況の中で役員はもとより会員の御理解と御協力によって、それなりの活動をこなしております。

数々の大会を開催する中で一番の課題が妙円寺詣り柔道大会の会場の件です。支部としては、この会場の件について要請していますが、なかなか思うようにいかないのが現状です。

この妙円寺詣り柔道大会は、岐阜の大垣市から毎年少年柔道使節団が参加し、県内からも柔道スポーツ少年団、中学校、高等学校、大学、一般のチームが多数参加し、運営されています。

この大会には、審判員として県柔道会の先生方の御協力をいただき心から感謝しているところです。

次に、どこの支部でも抱えていらっしゃるであろう登録の問題ですが、日置支部の9月末現在の登録済み数は、小学校53人（男子34人、女子19人）、中学校40人（男子29人、女子11人）、高等学校32人（男子20人、女子12人）、一般10人（男子8人、女子2人）、指導者38人（男子35人、女子3人）合計173人（男子126人、女子47人）です。

一般有段者の中で未だ登録をしていない人がかなりいますが、これらについては、日置支部評議員（各町）を通して、勧誘をお願いしています。この登録は、いろいろな考え方もあって、なかなかスムーズに登録してもらえないのが現状ですが、1人でも多くの有段者に登録してもらえるように努力しているところです。

次に、昇段試験の件ですが、日置支部では、近年受験者数が減少しています。子供たちの志向がサッカーや野球・ソフトボールなどの集団競技に向かい、柔道などの個人競技に魅力がなく、スポーツ少年団や中学校の柔道部活動に入部者が少ない。自分が住んでいる地区にスポーツ少年団がない

中学校に柔道部がない。柔道部の顧問がない。高等学校の柔道部員が少ない等が、昇段試験受験者数の減少に繋がっている原因ではなからうかと思えます。柔道人口の低迷を挽回するには、親と子供たちに柔道の良さを理解させ、1つの町にスポーツ少年団を少なくとも1つは造って、1人でも多くの団員を募り続ける勇気と粘り強さがこれからの柔道の指導者に大事なことはないかと思っています。

日置支部では、これまで年に2回、串木野と伊集院の会場で昇段試験を実施してきましたが、受験者数の減少で、今年から1回実施することにしました。現状では、2回の試験は、諸経費等の関係で困難であります。これから先、受験者の増加によっては、年2回の試験も視野に入れていきます。

9月16日に開催された県民体育大会の選手選考会については、去年までは、各市町別対抗という方法で実施しましたが、今年から、市町村合併により、従来どおりのやり方が廃止され、それぞれの各専門部独自の方法で選出してもよいとのことで、日置支部では、総会などでいろいろ検討し、その結果、第1回日置地区柔道選手権大会兼県民体育大会候補選手選考会という名称で実施することにしました。選手は、各町から最低2人は出場してもらい、それ以上は、何人でもよいという事にしました。段位には制限がなく、5段以下ということで実施したところ、男子20人、女子3人、計23人が参加し、第1回の日置地区柔道選手権大会を成功裡に終了することが出来ました。

県内の各支部で、このような方法で大会を持ったのは、恐らく日置支部が初めてではないかと思っています。

この第1回日置地区柔道選手権大会には、県柔道会会長杯の寄贈をしてもらい大変感謝しています。

終わりに県柔道会の益々の御発展と各支部の御活躍を祈念申し上げます。健康に気をつけて、がんばりましょう。

各種大会の成績 (6月～9月)

・県ジュニア体重別選手権大会

6月2日(土) 鹿児島アリーナ武道場

男子(60kg級)

- 1位 前田 隼哉(鹿児島商業高等学校)
2位 藤山 成斗(鹿児島情報高等学校)

男子(66kg級)

- 1位 豎山 剛(鹿屋体育大学)
2位 池田宏次郎(甲陵高等学校)

男子(73kg級)

- 1位 池田 敬介(鹿屋体育大学)
2位 渡邊 智之(鹿屋体育大学)

男子(81kg級)

- 1位 福重幸太郎(甲陵高等学校)
2位 富士 拓未(鹿屋体育大学)

男子(90kg級)

- 1位 青木 和明(鹿屋体育大学)
2位 遠矢 大将(甲陵高等学校)

男子(100kg級)

- 1位 生越 貞行(鹿屋体育大学)
2位 金子 博史(鹿児島実業高等学校)

男子(100kg超級)

- 1位 高木 悠希(鹿児島商業高等学校)
2位 土屋 潤(鹿児島商業高等学校)

女子(48kg級)

- 1位 瀬戸口はつき(れいめい高等学校)
2位 石寺 美穂(鳳凰高等学校)

女子(52kg級)

- 1位 安達 莉穂(鹿屋高等学校)
2位 西園 裕弥(鹿児島南高等学校)

女子(57kg級)

- 1位 宮保 海(鹿屋体育大学)
2位 吉元 佳代(鹿児島南高等学校)

女子(63kg級)

- 1位 泉 志保(鹿屋体育大学)
2位 新原みなみ(鳳凰高等学校)

女子(70kg級)

- 1位 濱田 尚里(鹿児島南高等学校)
2位 松本 光(鹿屋体育大学)

女子(78kg級)

- 1位 上別府宏美(鳳凰高等学校)
2位 上山 沙季(出水中央高等学校)

女子(78kg超級)

- 1位 吉野 光(鹿児島南高等学校)
2位 野瀬 美幸(れいめい高等学校)

・県下中学校柔道大会

6月3日(日) 鹿児島アリーナ武道場

団体戦(男子)

- 1位 鹿屋東中学校
2位 阿久根中学校
3位 志布志中学校
3位 立神中学校

団体戦(女子)

- 1位 末吉中学校
2位 山川中学校
3位 川内中央中学校
3位 松元中学校

個人戦(男子)

- 1位 内村 翔太(鹿屋東中学校)
2位 木下 祐樹(志布志中学校)

個人戦(女子)

- 1位 稲森 奈見(末吉中学校)
2位 吉時 恵(谷山中学校)

マルちゃん杯九州少年柔道大会

6月9日(土) 鹿児島メインアリーナ

小学校の部

- 1位 戸塚柔道場(宮崎県)
2位 福江武道館(長崎県)

中学校の部

- 1位 太刀洗中学校A(福岡県)
2位 桜木柔道クラブ(熊本県)
5位 立神中学校A(鹿児島県)

・県下少年学年別柔道大会

6月16日(土) 鹿児島アリーナ武道場

男子4年生(40kg級)

- 1位 内村 光輝(光武館)
2位 福満 翼(市来)

男子4年生(40kg超級)

- 1位 半渡 賢太(南界)
2位 宮田 嶋輔(末吉)

男子5年生(45kg級)

- 1位 栄 翔太(宇検)
2位 長谷川涼哉(青雲)

男子5年生 (45kg 超級)

1位 中西 将太 (末吉)

2位 池山 凌 (双葉)

男子6年生 (50kg 級)

1位 富永 健斗 (末吉)

2位 上野 真二郎 (青雲)

男子6年生 (50kg 超級)

1位 上野 公大 (三笠)

2位 田原 紘臣 (志布志)

女子4年生 (35kg 級)

1位 幸田 奈々 (末吉)

2位 大島未都未 (立神)

女子4年生 (35kg 超級)

1位 松本 美依 (内柔道館)

2位 中川 葵 (米倉柔道館)

女子5年生 (40kg 級)

1位 前田 千鳥 (志布志)

2位 井上 晴海 (山川)

女子5年生 (40kg 超級)

1位 山下 理奈 (南界)

2位 辰島 千夏 (宇検)

女子6年生 (45kg 級)

1位 羽生明紀子 (正道館)

2位 永田ひかり (正道館)

女子6年生 (45kg 超級)

1位 湯之上歩惟 (山川)

2位 青柳 美希 (国分西)

・九州高校総体 (柔道競技)

6月23日 (土), 24日 (日)

宮崎県武道館

女子団体 3位 鹿児島南高等学校

男子個人 (73kg 級)

1位 矢田 友克 (甲陵高等学校)

女子個人 (48kg 級)

2位 豎山 優 (鹿児島南高等学校)

女子個人 (57kg 級)

2位 吉元 佳代 (鹿児島南高等学校)

男子個人 (60kg 級)

3位 田中 康平 (鹿児島商業高等学校)

男子個人 (81kg 級)

3位 福重幸太郎 (甲陵高等学校)

男子個人 (90kg 級)

3位 遠矢 大将 (甲陵高等学校)

・九州ジュニア体重別選手権大会

7月8日 (日) 福岡武道館

男子 (66kg 級)

2位 豎山 剛 (鹿屋体育大学)

男子 (90kg 級)

3位 青木 和明 (鹿屋体育大学)

女子 (48kg 級)

2位 瀬戸口はつき (れいめい高校)

女子 (57kg 級)

1位 吉元 佳代 (鹿児島南高校)

女子 (63kg 級)

2位 泉 志保 (鹿屋体育大学)

女子 (70kg 級)

2位 松本 光 (鹿屋体育大学)

・県中学校総体 (柔道競技)

7月24日 (火), 25日 (水)

鹿児島アリーナ武道場

団体戦 (男子)

1位 立神中学校

2位 川内中央中学校

3位 伊敷中学校

4位 坊泊中学校

団体戦 (女子)

1位 末吉中学校

2位 山川中学校

3位 松元中学校

4位 中種子中学校

個人戦 (男子)

男子 (55kg 級)

1位 前田 力丸 (志布志中学校)

2位 田中 光 (松元中学校)

男子 (60kg 級)

1位 中釜 貴文 (立神中学校)

2位 里村 勇昂 (松元中学校)

男子 (66kg 級)

1位 内村 将大 (鹿屋東中学校)

2位 富永 太志 (帖佐中学校)

男子 (73kg 級)

1位 豎山 将 (阿久根中学校)

2位 下山 勝栄 (坊泊中学校)

男子 (81kg 級)

1位 渡邊 英貴 (坊泊中学校)

- 2位 坂本 裕喜 (谷山中学校)
男子 (90kg級)
1位 山平 隆太 (川内中央中学校)
2位 木佐貫 聡 (鹿屋東中学校)
男子 (90kg級 超級)
1位 木下 祐樹 (志布志中学校)
2位 寺地 湧希 (高尾野中学校)
個人戦 (女子)
女子 (44kg級)
1位 児玉 千春 (末吉中学校)
2位 福山さくら (川内中央中学校)
女子 (48kg級)
1位 西村 和華子 (松元中学校)
2位 白石 麻里子 (末吉中学校)
女子 (52kg級)
1位 新村 夏美 (松元中学校)
2位 堀内 愛実 (末吉中学校)
女子 (57kg級)
1位 丸尾 薫 (川内中央中学校)
2位 大木 亜美 (山川中学校)
女子 (63kg級)
1位 長野 希美 (榕城中学校)
2位 畠中 真幸 (吹上中学校)
女子 (70kg級)
1位 石橋 采子 (松元中学校)
2位 浜崎 美菜 (山川中学校)
女子 (70kg級 超級)
1位 稲森 奈見 (末吉中学校)
2位 吉時 恵 (谷山中学校)

・全国高校総体 (柔道競技)

- 8月8日～12日 基山町総合体育館
女子 (52kg級)
3位 西園 裕弥 (鹿児島南高校)
女子 (57kg級)
5位 吉元 佳代 (鹿児島南高校)

・全国少年学年別柔道大会

- 8月18日 (土), 19日 (日)
愛媛県立武道館
男子5年生 (45kg 超級)
5位 中西 将太 (末吉)
男子6年生 (50kg級)
5位 富永 健斗 (末吉)

- 女子5年生 (40kg 超級)
5位 山下 理奈 (南界)

・全国中学校総体 (柔道競技)

- 8月22日～25日
山形県総合運動公園体育館
女子個人 (70kg級)
5位 稲森 奈見 (末吉中学校)

・全日本ジュニア体重別選手権大会

- 9月8日～9日 埼玉県立武道館
男子 (66kg級)
2位 堅山 剛 (鹿屋体育大学)
女子 (63kg級)
3位 泉 志保 (鹿屋体育大学)

主な行事予定 (10月～1月)

- 10月 2日 市高校新人柔道大会
10月 5日 市中学生スポーツ教室
10月24日 県高校新人柔道大会 ~25日
10月25日 ジュニアブロック合宿~28日
10月28日 柔道フェスタ
10月28日 妙円寺詣り柔道大会
10月29日 県警察柔道大会
11月 3日 県下少年柔道大会
11月24日 九州高校新人柔道大会~25日
12月22日 稽古納め
1月12日 稽古始め
1月14日 柔道冬期講習会~19日
1月20日 柔道冬季昇段試験
1月26日 高校柔道選手権大会~27日
2月 2日 県柔道選手権・県女子選手権

優秀選手が、一堂に!

- 九州ジュニアブロック合宿(25日~28日)
柔道フェスタ(28日) 13:00~16:00
鹿児島アリーナ (サブアリーナ)
※ 柔道フェスタに、谷 亮子, 秋本啓之, 斎藤制剛選手等が参加します。

【編集後記】平成19年度の支部別登録者数は、誌面の都合から、別紙で発刊することにしました。御了承ください。

なお、「県柔道会だより」の第9号は、平成20年2月1日に発刊の予定です。(畑添)